

セーフティノーツ

パラグライダー用ハーネス SUP'AIR 06 DHV GS-03-0327-06 に関して

多くのパイロットが、上記ハーネスのリザーブ・コンテナーからパラシュートを開傘するのに、異常に大きな力が必要なことに気づいた。

この問題は、開傘用グリップと止めピンを繋いでいるナイロン製のテープがずれて周りのベルクロにはさまられ、ベルクロを長期間にわたってクローズしたままにしておくとテープがベルクロに貼りつき、その結果、開傘に一層の力が必要となる（写真 1 の右参照）。



写真 1

SUP'AIR 社は以下のいずれかを推奨する：

1. リザーブ・パラシュートをそのコンテナーにパッキングする際に、ナイロン製テープがベルクロ取付部間に折り目に確実に配置されるよう注意し、テープがベルクロにはさまれないようする（写真 1 の左参照）。
2. あるいは、ベルクロのオス側の中央部を部分的にカバーしナイロン製テープが付着しないようにする。（写真 2 参照）。適合するカバーは、このハーネスの全所有者に対し、無償で Aerosport International 社または Sup'Air 社から入手できる。



写真 2

Brannenburg, 2008 年 5 月 21 日

Kurt Vorraber

General Manager

Aerosport International

Grafenstrasse 26
DE83098 Brannenburg
Tel:+49 8034 1043, info@aerosport.de, www.aerosport.de

注意：Sup'Air 社は全てのパイロットにリザーブ・パラシュートの開傘テストの重要性を思い出させたい。これはシーズン中に数度行われなければならない。緊急時に遅れることの無いよう、完全な開傘に必要な動きと力の調整を促すため、ハーネスを吊り下げ、パイロットは飛行中のように着座していなければならない。